

# ドイツ外相が公然と対ロシア戦争を宣言

ウラジミール・コージン

モダン・ディプロマシー 2023年1月29日

[Baerbock has publicly declared 'a war against Russia' - Modern Diplomacy](https://moderndiplomacy.eu/2023/01/29/baerbock-has-publicly-declared-a-war-against-russia/)  
<https://moderndiplomacy.eu/2023/01/29/baerbock-has-publicly-declared-a-war-against-russia/>

1月25日、ドイツとアメリカはウクライナにレオパルド2とエイブラムス戦車計45両（それぞれ14両+31両）を供与することを決定した。また、一部の欧州諸国はこの援助に加えて、今年中に供与する主力戦車と軽戦車を約300台にする意向だ。米国防総省の担当者は、2023年中に集める「軍備バスケット」には300台の戦車とACV/APCが含まれると確認した。2022年に大規模に始まった大西洋同盟によるウクライナ向けの致死性軍事物資の「バスケット」は28個目になる。

ファシストドイツとは異なり、現ドイツは1月24日に公然と対露宣戦布告を行った。ドイツのベアボック外相は、NATOの戦車とACV/APCをウクライナに送ることに賛成する論陣を張り、EU諸国はロシアと戦争していると述べた。米国とEUの高官は以前、『自分たちはウクライナの紛争の当事者ではない』とことさら強調していた。

以下は、ベアボック外相の欧州評議会での発言の引用である。

「したがって、私はすでにここ数日、ウクライナ防衛のためにもっと多くのことをしなければならぬと言ってきた。戦車についてもそうだ。だが、一番重要で肝心なことは、それを皆一緒になってやり遂げることで、欧州内で非難合戦をすることではない。なぜなら我々はロシアと戦争をしているのだから」

これまでのところ、彼女はドイツ政府からも議会からも罷免されていない。それは「我々はロシアに対して戦争をしている、お互いに対してではない」という彼女の声明がドイツ政府によって完全に共有されていることを意味する。

それはまた、ドイツ連邦共和国が外交政策を根本的に変え、再び次の世界大戦-第三次世界大戦-を繰り広げようとしていることを意味する。

1941年から1945年のように、ウクライナとロシアに再びドイツ軍の戦車が現れるということだ。

また、親ナチ連合が、最初は2014年4月にドンバスに対して、その後2022年10月にロシアに対していわれのない侵略を始めたウクライナのウルトラ民族主義政権を支持していることも意味する。

つまり、2023年1月25日以降、ウクライナにおける現在のウクライナとNATOの共同行動は、政治的・法的には「ロシア連邦に対するウクライナとNATOの直接的な複合侵略の宣言」と見なされるようになったのである。

このような異常な発言に、ロシアは怒り心頭で反応した。クレムリンのペスコフ報道官は記者団に対し、西側諸国によるウクライナへの戦車供与は、武力紛争への直接的かつ増大する関与の証しであると述べた。また、西側諸国からウクライナへの武器の流れは、モスクワとキエフの間の潜在的な交渉の助けにはならないと付け加えた。

ロシアのラブロフ外相は、ウクライナ向けの武器輸送は、ロシア軍の合法的な標的となると警告した。在ドイツ・ロシア大使館は、「(ベルリンによる)この極めて危険な決定により、ウクライナ紛争は新たなレベルの膠着状態に移行する」と警告した。

ロシア連邦議会の5つの政党はこぞって、ウクライナとNATOの重火器をすべて破壊するよう、国の最高軍事・政治機構に要求している。前線だけでな

く、主にウクライナと NATO の国境付近で、陸・空・海でそのような兵器が国境を越えたらすぐに、その兵器を破壊するよう要求している。

このような破壊は、民間人や軍人の罪のない多くの命を救うことになる。

モスクワはまた、NATO および非 NATO 諸国に対し、劣化ウラン弾 (DUM) やロシア領内奥深くの都市を攻撃できる長距離兵器をウクライナに供給しないよう警告している。

ウィーン軍事安全保障・軍備管理交渉のロシア代表団長であるコンスタンチン・ガブリロフ氏は、ウクライナに西側軍用ハードウェアの DUM を供給することは、モスクワにとって「汚い爆弾」の使用とみなされると述べた。オーストリアの首都ウィーンで開催された OSCE 安全保障協力フォーラムの全体会議で、ガブリロフ氏は「キエフの戦争マシンの西側スポンサー」に対して、「核による挑発と脅迫」を助長しないように警告した。

「我々は、レオポルド 2 戦車やブラッドレー、マーダー装甲戦闘車両が、ユーゴスラビアやイラクで起こったように、地形を汚染する可能性のある劣化ウラン弾を使用できることを知っている」と彼は言った。「もしキエフが西側の重装備の軍需品で使用するためにそのような弾薬を供給されるなら、我々はどのような結果になっても、それをロシアに対する『汚い核爆弾』の使用と見なす」。

ガブリロフ氏はまた、西側がキエフにロシアの都市に対する攻撃を行うための長距離兵器を供給するならば、モスクワは報復を行うと警告した。「もしワシントンと NATO 諸国がキエフに、ロシア領土の奥深くにある都市を攻撃し、憲法で認められた領土を奪おうとするための武器を提供すれば、モスクワは厳しい報復措置を取らざるを得なくなるだろう。私たちが警告しなかったとは言わせない」とのべた。

ドナルド・トランプ元大統領は、核兵器の使用に至る前に「狂気の」ウクライナ紛争を終わらせるようジョセフ・バイデンに呼びかけた。同氏は「まず戦車

が来て、次には核兵器が来る。このクレイジーな戦争を終わらせよう、今すぐ。とても簡単なことだ」とのべている。(了)